

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 群馬県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	心臓血管センター	2
-	がんセンター	3
-	精神医療センター	4
-	小児医療センター	5
伊勢崎市	伊勢崎市民病院	6
藤岡市	藤岡市国民健康保険鬼石病院	7
安中市	公立碓氷病院	8
桐生地域医療組合	桐生厚生総合病院	9
多野藤岡医療事務市町村組合	公立藤岡総合病院	10
邑楽館林医療事務組合（事業会計分）	館林厚生病院	11
富岡地域医療企業団	富岡総合病院	12
富岡地域医療企業団	七日市病院	13
下仁田南牧医療事務組合	下仁田厚生病院	14
吾妻広域町村圏振興整備組合（事業会計分）	中之条病院	15
西吾妻福祉病院組合（事業会計分）	西吾妻福祉病院	16

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 群馬県	
市町村・組合名					
病院名	心臓血管センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,000 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	8	指定病院の状況	救地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	195	73.6	71.8	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	195	73.6	71.8	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	10.4	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	999,279,885	
標準財政規模(千円)	444,041,743	
財政力指数	0.63796	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	166.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,774,835			
1 経常収益	9,667,514			
(1) 医業収益	8,571,886			
入院収益	7,490,136			
外来収益	789,618			
診療収入計	8,279,754			
その他医業収益	292,132			
(うち他会計負担金)	131,924			
(2) 医業外収益	1,095,628			
(うち国・都道府県補助金)	13,647			
(うち他会計補助・負担金)	635,516			
(うち長期前受金戻入)	326,609			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	107,321			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,771,242			
2 経常費用	9,663,921			
(1) 医業費用	9,529,304			
職員給与費	3,497,062	40.8	62.1	67.4
材料費	4,052,359	47.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	291,984	3.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,718,298	43.4	11.4	8.8
減価償却費	668,996	7.8	9.5	10.7
経費	1,256,234	14.7	22.7	29.2
(うち委託料)	744,473	8.7	12.6	13.9
研究研修費	23,120			
資産減耗費	31,533			
(2) 医業外費用	134,617			
(うち支払利息)	48,689	0.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	107,321			
損益				
経常損益	3,593			
純損益	3,593			
累積欠損金	2,921,190			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	90.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	92.1		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,133,237
1 固定資産	24,327,832
(1) 有形固定資産	24,321,843
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,805,405
(1) 現金及び預金	3,484,496
(2) 未収金及び未収収益	4,159,194
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	130,942
3 繰延資産	-
負債合計	29,417,664
1 固定負債	17,750,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,402,256
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,334,776
(7) リース債務	13,546
2 流動負債	6,462,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,924,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	940,801
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,453,887
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,205,068
(1) 長期前受金	25,725,427
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,520,359
資本合計	2,715,573
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,718,058
(1) 資本金剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,329,870
負債・資本合計	32,133,237
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.6
修正医業収益(千円)	8,439,962

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	764,516	767,440
資本勘定繰入	490,786	490,786
計	1,255,302	1,258,226

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 群馬県	
市町村・組合名					
病院名	がんセンター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	Iガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,505 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	臨が		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	314	57.3	63.0	68.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	314	57.3	63.0	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	12.8	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	999,279,885	
標準財政規模(千円)	444,041,743	
財政力指数	0.63796	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	166.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.5
修正医業収益(千円)	8,610,600

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,318,831			
1 経常収益	11,171,333			
(1) 医業収益	8,625,643			
入院収益	4,013,226			
外来収益	4,335,812			
診療収入計	8,349,038			
その他医業収益	276,605			
(うち他会計負担金)	15,043			
(2) 医業外収益	2,545,690			
(うち国・都道府県補助金)	928,983			
(うち他会計補助・負担金)	816,502			
(うち長期前受金戻入)	671,870			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	147,498			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,090,423			
2 経常費用	10,957,250			
(1) 医業費用	10,563,952			
職員給与費	3,922,852	45.5	62.1	63.5
材料費	3,599,984	41.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	2,588,290	30.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	957,937	11.1	11.4	11.8
減価償却費	1,257,068	14.6	9.5	10.0
経費	1,693,587	19.6	22.7	21.7
(うち委託料)	1,089,787	12.6	12.6	12.2
研究研修費	77,755			
資産減耗費	12,706			
(2) 医業外費用	393,298			
(うち支払利息)	23,458	0.3	1.3	1.4
(3) 特別損失	133,173			
損益				
経常損益	214,083			
純損益	228,408			
累積欠損金	3,987,886			
経常収支比率	102.0		101.9	101.7
医業収支比率	81.7		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	94.4		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,133,237
1 固定資産	24,327,832
(1) 有形固定資産	24,321,843
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,805,405
(1) 現金及び預金	3,484,496
(2) 未収金及び未収収益	4,159,194
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	130,942
3 繰延資産	-
負債合計	29,417,664
1 固定負債	17,750,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,402,256
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,334,776
(7) リース債務	13,546
2 流動負債	6,462,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,924,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	940,801
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,453,887
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,205,068
(1) 長期前受金	25,725,427
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,520,359
資本合計	2,715,573
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,718,058
(1) 資本金剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,329,870
負債・資本合計	32,133,237
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	831,545	831,545
資本勘定繰入	574,528	574,528
計	1,406,073	1,406,073

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名					
病院名 精神医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,594 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	臨 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	265	65.3	68.4	66.7
感染症	-	-	-	-
計	265	65.3	68.4	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	999,279,885	
標準財政規模(千円)	444,041,743	
財政力指数	0.63796	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	166.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.3
修正医業収益(千円)	1,982,506

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,926,760			
1 経常収益	2,897,187			
(1) 医業収益	2,022,284			
入院収益	1,742,527			
外来収益	211,790			
診療収入計	1,954,317			
その他医業収益	67,967			
(うち他会計負担金)	39,778			
(2) 医業外収益	874,903			
(うち国・都道府県補助金)	70,981			
(うち他会計補助・負担金)	659,048			
(うち長期前受金戻入)	133,852			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,573			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,879,055			
2 経常費用	2,850,055			
(1) 医業費用	2,781,007			
職員給与費	1,924,137	95.1	62.1	104.8
材料費	162,434	8.0	25.3	8.7
(うち薬品費)	88,683	4.4	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,529	1.1	11.4	1.3
減価償却費	198,286	9.8	9.5	13.5
経費	468,299	23.2	22.7	33.3
(うち委託料)	283,487	14.0	12.6	18.6
研究研修費	3,617			
資産減耗費	24,234			
(2) 医業外費用	69,048			
(うち支払利息)	58,232	2.9	1.3	2.7
(3) 特別損失	29,000			
損益				
経常損益	47,132			
純損益	47,705			
累積欠損金	729,912			
経常収支比率	101.7		101.9	101.4
医業収支比率	72.7		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.1		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	34.6		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	23.9		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	77.1		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,133,237
1 固定資産	24,327,832
(1) 有形固定資産	24,321,843
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,805,405
(1) 現金及び預金	3,484,496
(2) 未収金及び未収収益	4,159,194
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	130,942
3 繰延資産	-
負債合計	29,417,664
1 固定負債	17,750,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,402,256
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,334,776
(7) リース債務	13,546
2 流動負債	6,462,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,924,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	940,801
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,453,887
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,205,068
(1) 長期前受金	25,725,427
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,520,359
資本合計	2,715,573
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,718,058
(1) 資本金剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,329,870
負債・資本合計	32,133,237
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	698,528	698,826
資本勘定繰入	265,388	265,388
計	963,916	964,214

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名					
病院名 小児医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,004 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	150	72.0	71.9	76.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	72.0	71.9	76.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.0	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	999,279,885	
標準財政規模(千円)	444,041,743	
財政力指数	0.63796	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	166.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.2
修正医業収益(千円)	4,303,428

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,378,460			
1 経常収益	6,321,449			
(1) 医業収益	4,455,717			
入院収益	3,315,995			
外来収益	828,115			
診療収入計	4,144,110			
その他医業収益	311,607			
(うち他会計負担金)	152,289			
(2) 医業外収益	1,865,732			
(うち国・都道府県補助金)	116,443			
(うち他会計補助・負担金)	1,334,625			
(うち長期前受金戻入)	290,538			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	57,011			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,646,438			
2 経常費用	6,589,113			
(1) 医業費用	6,498,361			
職員給与費	3,686,869	82.7	62.1	67.4
材料費	1,107,905	24.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	534,746	12.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	548,851	12.3	11.4	8.8
減価償却費	534,591	12.0	9.5	10.7
経費	1,140,920	25.6	22.7	29.2
(うち委託料)	603,154	13.5	12.6	13.9
研究研修費	25,877			
資産減耗費	2,199			
(2) 医業外費用	90,752			
(うち支払利息)	6,844	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	57,325			
損益				
経常損益	-267,664			
純損益	-267,978			
累積欠損金	690,882			
経常収支比率	95.9		101.9	100.3
医業収支比率	68.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	33.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	73.4		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,133,237
1 固定資産	24,327,832
(1) 有形固定資産	24,321,843
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,805,405
(1) 現金及び預金	3,484,496
(2) 未収金及び未収収益	4,159,194
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	130,942
3 繰延資産	-
負債合計	29,417,664
1 固定負債	17,750,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,402,256
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,334,776
(7) リース債務	13,546
2 流動負債	6,462,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,924,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	940,801
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,453,887
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,205,068
(1) 長期前受金	25,725,427
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,520,359
資本合計	2,715,573
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,718,058
(1) 資本金剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,329,870
負債・資本合計	32,133,237
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,483,360	1,486,914
資本勘定繰入	252,684	252,684
計	1,736,044	1,739,598

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				群馬県
市町村・組合名	伊勢崎市			
病院名	伊勢崎市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透   未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	47,606 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上~500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	490	72.6	82.2	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	3.6	-
計	494	72.1	81.5	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.1	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	211,850	
決算規模(千円)	98,537,538	
標準財政規模(千円)	43,759,600	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	33.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,397,722			
1 経常収益	16,141,297			
(1) 医業収益	13,823,119			
入院収益	9,061,395			
外来収益	4,198,217			
診療収入計	13,259,612			
その他医業収益	563,507			
(うち他会計負担金)	158,585			
(2) 医業外収益	2,318,178			
(うち国・都道府県補助金)	1,785,518			
(うち他会計補助・負担金)	153,534			
(うち長期前受金戻入)	2,167			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	256,425			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,191,939			
2 経常費用	15,935,514			
(1) 医業費用	14,767,604			
職員給与費	7,657,274	55.4	62.1	59.8
材料費	4,276,207	30.9	25.3	27.7
(うち薬品費)	2,152,280	15.6	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,118,177	15.3	11.4	12.4
減価償却費	782,025	5.7	9.5	8.2
経費	1,952,441	14.1	22.7	19.2
(うち委託料)	1,203,080	8.7	12.6	10.2
研究研修費	22,771			
資産減耗費	76,886			
(2) 医業外費用	1,167,910			
(うち支払利息)	152,259	1.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	256,425			
損益				
経常損益	205,783			
純損益	205,783			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		101.9	103.7
医業収支比率	93.6		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	1.9		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	2.3		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	1.9		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	99.3		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,305,844
1 固定資産	12,845,137
(1) 有形固定資産	11,443,847
(2) 無形固定資産	1,180
(3) 投資その他の資産	1,400,110
2 流動資産	9,460,707
(1) 現金及び預金	6,257,835
(2) 未収金及び未収収益	3,064,212
(3) 貸倒引当金( )	27,000
(4) 貯蔵品	129,249
3 繰延資産	-
負債合計	10,957,335
1 固定負債	8,139,978
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,851,809
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,288,169
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,715,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	958,006
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	464,210
(6) リース債務	1,382
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,217,754
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	102,356
(1) 長期前受金	193,587
(2) 長期前受金収益化累計額( )	91,231
資本合計	11,348,509
1 資本金	11,128,104
2 剰余金	220,405
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	220,405
負債・資本合計	22,305,844
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.5
修正医業収益(千円)	13,664,534

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	312,119	312,119
資本勘定繰入	579,715	579,715
計	891,834	891,834

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				群馬県
市町村・組合名	藤岡市			
病院名	藤岡市国民健康保険鬼石病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	5,886 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	10	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上～100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	52	90.6	91.0	93.1
療養	47	92.3	85.5	86.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	91.4	88.4	90.0
平均在院日数(一般病床のみ)		29.7	28.8	26.9

設立団体の状況		
人口(人)	63,261	
決算規模(千円)	33,460,016	
標準財政規模(千円)	15,613,788	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	5.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,232,732			
1 経常収益	1,204,022			
(1) 医業収益	1,014,174			
入院収益	835,507			
外来収益	120,288			
診療収入計	955,795			
その他医業収益	58,379			
(うち他会計負担金)	26,935			
(2) 医業外収益	189,848			
(うち国・都道府県補助金)	17,590			
(うち他会計補助・負担金)	78,026			
(うち長期前受金戻入)	27,581			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28,710			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,222,447			
2 経常費用	1,193,737			
(1) 医業費用	1,093,665			
職員給与費	773,099	76.2	62.1	78.9
材料費	96,314	9.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	32,371	3.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,096	4.4	11.4	6.0
減価償却費	62,102	6.1	9.5	11.7
経費	159,943	15.8	22.7	31.2
(うち委託料)	104,805	10.3	12.6	14.3
研究研修費	1,207			
資産減耗費	1,000			
(2) 医業外費用	100,072			
(うち支払利息)	7,773	0.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	28,710			
損益				
経常損益	10,285			
純損益	10,285			
累積欠損金	1,086,309			
経常収支比率	100.9		101.9	100.3
医業収支比率	92.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	92.1		89.3	76.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,476,101
1 固定資産	939,814
(1) 有形固定資産	939,494
(2) 無形固定資産	320
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	536,287
(1) 現金及び預金	310,703
(2) 未収金及び未収収益	222,348
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,236
3 繰延資産	-
負債合計	1,222,607
1 固定負債	812,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	473,351
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	339,455
(7) リース債務	-
2 流動負債	202,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,050
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	94,366
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	207,650
(1) 長期前受金	449,237
(2) 長期前受金収益化累計額( )	241,587
資本合計	253,494
1 資本金	1,310,162
2 剰余金	-1,056,668
(1) 資本金剰余金	23,141
(2) 利益剰余金	-1,079,809
負債・資本合計	1,476,101
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.3
修正医業収益(千円)	987,239

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	107,540	104,961
資本勘定繰入	28,120	31,430
計	135,660	136,391

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				群馬県
市町村・組合名	安中市			
病院名	公立碓氷病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	12,568 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	21	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	62.9	41.3	41.1
療養	50	51.8	60.4	72.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	59.2	46.1	48.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.2	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	54,907	
決算規模(千円)	29,883,213	
標準財政規模(千円)	15,549,039	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.6
修正医業収益(千円)	1,803,857

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,692,595			
1 経常収益	2,680,448			
(1) 医業収益	1,888,728			
入院収益	1,028,776			
外来収益	720,169			
診療収入計	1,748,945			
その他医業収益	139,783			
(うち他会計負担金)	84,871			
(2) 医業外収益	791,720			
(うち国・都道府県補助金)	71,063			
(うち他会計補助・負担金)	630,578			
(うち長期前受金戻入)	81,158			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,147			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,630,846			
2 経常費用	2,618,708			
(1) 医業費用	2,517,772			
職員給与費	1,447,215	76.6	62.1	67.4
材料費	472,488	25.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	285,281	15.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	161,430	8.5	11.4	8.8
減価償却費	196,303	10.4	9.5	10.7
経費	398,409	21.1	22.7	29.2
(うち委託料)	275,399	14.6	12.6	13.9
研究研修費	3,357			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	100,936			
(うち支払利息)	11,688	0.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	12,138			
損益				
経常損益	61,740			
純損益	61,749			
累積欠損金	1,379,559			
経常収支比率	102.4		101.9	100.3
医業収支比率	75.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	37.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	26.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	75.0		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,103,859
1 固定資産	2,393,087
(1) 有形固定資産	2,393,087
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	710,772
(1) 現金及び預金	396,812
(2) 未収金及び未収収益	329,436
(3) 貸倒引当金( )	30,921
(4) 貯蔵品	15,445
3 繰延資産	-
負債合計	1,974,673
1 固定負債	1,143,027
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	886,831
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,196
(7) リース債務	-
2 流動負債	352,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	149,052
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,815
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	100,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	479,037
(1) 長期前受金	1,929,854
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,450,817
資本合計	1,129,186
1 資本金	2,508,745
2 剰余金	-1,379,559
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,379,559
負債・資本合計	3,103,859
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	216,153	715,449
資本勘定繰入	79,551	79,551
計	295,704	795,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				群馬県
市町村・組合名	桐生地域医療組合			
病院名	桐生厚生総合病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	34,089 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上~500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	429	67.8	63.5	67.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	433	67.2	62.9	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	14.1	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.5
修正医業収益(千円)	8,748,018

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,529,544			
1 経常収益	11,300,642			
(1) 医業収益	8,941,804			
入院収益	5,912,729			
外来収益	2,586,437			
診療収入計	8,499,166			
その他医業収益	442,638			
(うち他会計負担金)	193,786			
(2) 医業外収益	2,358,838			
(うち国・都道府県補助金)	1,457,723			
(うち他会計補助・負担金)	602,282			
(うち長期前受金戻入)	252,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	228,902			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,671,033			
2 経常費用	10,479,636			
(1) 医業費用	10,108,403			
職員給与費	5,747,352	64.3	62.1	59.8
材料費	2,043,125	22.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,234,953	13.8	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	725,537	8.1	11.4	12.4
減価償却費	493,140	5.5	9.5	8.2
経費	1,792,676	20.0	22.7	19.2
(うち委託料)	1,012,715	11.3	12.6	10.2
研究研修費	14,889			
資産減耗費	17,221			
(2) 医業外費用	371,233			
(うち支払利息)	1,201	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	191,397			
損益				
経常損益	821,006			
純損益	858,511			
累積欠損金	2,972,883			
経常収支比率	107.8		101.9	103.7
医業収支比率	88.5		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.2		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,778,041
1 固定資産	5,270,164
(1) 有形固定資産	5,268,056
(2) 無形固定資産	2,108
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,507,877
(1) 現金及び預金	1,308,430
(2) 未収金及び未収収益	2,196,788
(3) 貸倒引当金( )	29,604
(4) 貯蔵品	29,102
3 繰延資産	-
負債合計	4,551,148
1 固定負債	1,179,015
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,179,015
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,775,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	382,781
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	393,273
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	946,491
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,596,153
(1) 長期前受金	6,823,307
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,227,154
資本合計	4,226,893
1 資本金	7,196,376
2 剰余金	-2,969,483
(1) 資本金剰余金	3,400
(2) 利益剰余金	-2,972,883
負債・資本合計	8,778,041
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	796,068	796,068
資本勘定繰入	220,022	220,022
計	1,016,090	1,016,090

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				群馬県
市町村・組合名	多野藤岡医療事務市町村組合			
病院名	公立藤岡総合病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	34,429 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	395	73.5	85.6	88.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	37.0	2.3	-
計	399	73.1	84.8	87.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	13.2	13.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.1
修正医業収益(千円)	9,764,015

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,466,103			
1 経常収益	11,172,441			
(1) 医業収益	9,863,013			
入院収益	6,216,410			
外来収益	3,135,694			
診療収入計	9,352,104			
その他医業収益	510,909			
(うち他会計負担金)	98,998			
(2) 医業外収益	1,309,428			
(うち国・都道府県補助金)	835,440			
(うち他会計補助・負担金)	138,270			
(うち長期前受金戻入)	294,135			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	293,662			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,840,605			
2 経常費用	11,670,588			
(1) 医業費用	11,083,499			
職員給与費	5,484,026	55.6	62.1	63.5
材料費	2,706,440	27.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,555,435	15.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,082,682	11.0	11.4	11.8
減価償却費	1,170,199	11.9	9.5	10.0
経費	1,702,608	17.3	22.7	21.7
(うち委託料)	1,074,708	10.9	12.6	12.2
研究研修費	11,747			
資産減耗費	8,479			
(2) 医業外費用	587,089			
(うち支払利息)	152,682	1.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	170,017			
損益				
経常損益	-498,147			
純損益	-374,502			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.7		101.9	101.7
医業収支比率	89.0		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	2.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	2.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	2.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	93.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,604,373
1 固定資産	17,898,416
(1) 有形固定資産	17,208,332
(2) 無形固定資産	51,566
(3) 投資その他の資産	638,518
2 流動資産	5,705,957
(1) 現金及び預金	3,347,938
(2) 未収金及び未収収益	2,278,079
(3) 貸倒引当金( )	46,017
(4) 貯蔵品	114,281
3 繰延資産	-
負債合計	20,405,723
1 固定負債	16,980,100
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,779,157
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,198,262
(7) リース債務	2,681
2 流動負債	2,396,988
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,134,068
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	346,124
(6) リース債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	871,743
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,028,635
(1) 長期前受金	8,525,185
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,496,550
資本合計	3,198,650
1 資本金	959,515
2 剰余金	2,239,135
(1) 資本金剰余金	1,961,216
(2) 利益剰余金	277,919
負債・資本合計	23,604,373
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,268	237,268
資本勘定繰入	551,337	551,337
計	788,605	788,605

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 群馬県	
市町村・組合名	邑楽館林医療事務組合(事業会計分)				
病院名	館林厚生病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	31,885 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	323	73.7	84.4	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	64.9	4.7	-
計	329	73.5	83.0	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	14.0	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.9
修正医業収益(千円)	6,557,718

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,248,485			
1 経常収益	8,102,543			
(1) 医業収益	6,821,540			
入院収益	4,512,462			
外来収益	1,811,062			
診療収入計	6,323,524			
その他医業収益	498,016			
(うち他会計負担金)	263,822			
(2) 医業外収益	1,281,003			
(うち国・都道府県補助金)	693,221			
(うち他会計補助・負担金)	491,940			
(うち長期前受金戻入)	73,091			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	145,942			
(うち他会計繰入金)	298			
総費用	8,301,388			
2 経常費用	8,155,744			
(1) 医業費用	7,817,730			
職員給与費	4,495,734	65.9	62.1	63.5
材料費	1,650,158	24.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,012,925	14.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	582,448	8.5	11.4	11.8
減価償却費	674,237	9.9	9.5	10.0
経費	986,073	14.5	22.7	21.7
(うち委託料)	572,571	8.4	12.6	12.2
研究研修費	6,559			
資産減耗費	4,969			
(2) 医業外費用	338,014			
(うち支払利息)	77,709	1.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	145,644			
損益				
経常損益	-53,201			
純損益	-52,903			
累積欠損金	2,681,732			
経常収支比率	99.3		101.9	101.7
医業収支比率	87.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	90.1		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,730,956
1 固定資産	8,427,843
(1) 有形固定資産	8,400,722
(2) 無形固定資産	2,115
(3) 投資その他の資産	25,006
2 流動資産	2,303,113
(1) 現金及び預金	869,928
(2) 未収金及び未収収益	1,408,003
(3) 貸倒引当金( )	7,051
(4) 貯蔵品	32,233
3 繰延資産	-
負債合計	10,951,796
1 固定負債	8,305,229
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,298,820
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,002,373
(7) リース債務	4,036
2 流動負債	1,206,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	376,031
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	268,058
(6) リース債務	7,309
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	549,383
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,439,822
(1) 長期前受金	1,882,272
(2) 長期前受金収益化累計額( )	442,450
資本合計	-220,840
1 資本金	2,460,886
2 剰余金	-2,681,726
(1) 資本金剰余金	6
(2) 利益剰余金	-2,681,732
負債・資本合計	10,730,956
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	220,840
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	731,464	756,060
資本勘定繰入	229,768	314,662
計	961,232	1,070,722

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名	富岡地域医療企業団				
病院名	富岡総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	29,191 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨が感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	328	68.3	80.1	80.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	3.1	-	-
計	332	67.5	79.2	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.8	11.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.2
修正医業収益(千円)	8,320,247

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,095,604			
1 経常収益	9,927,792			
(1) 医業収益	8,338,803			
入院収益	4,730,059			
外来収益	3,149,702			
診療収入計	7,879,761			
その他医業収益	459,042			
(うち他会計負担金)	18,556			
(2) 医業外収益	1,588,989			
(うち国・都道府県補助金)	1,240,707			
(うち他会計補助・負担金)	114,912			
(うち長期前受金戻入)	192,762			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	167,812			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,874,522			
2 経常費用	9,706,710			
(1) 医業費用	9,327,288			
職員給与費	5,482,879	65.8	62.1	63.5
材料費	2,276,879	27.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,377,954	16.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	838,279	10.1	11.4	11.8
減価償却費	513,440	6.2	9.5	10.0
経費	999,773	12.0	22.7	21.7
(うち委託料)	499,443	6.0	12.6	12.2
研究研修費	15,050			
資産減耗費	39,267			
(2) 医業外費用	379,422			
(うち支払利息)	45,702	0.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	167,812			
損益				
経常損益	221,082			
純損益	221,082			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.3		101.9	101.7
医業収支比率	89.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	1.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	1.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	1.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	100.9		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,988,259
1 固定資産	12,496,415
(1) 有形固定資産	11,747,819
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	748,596
2 流動資産	5,491,844
(1) 現金及び預金	3,314,796
(2) 未収金及び未収収益	2,044,618
(3) 貸倒引当金( )	2,728
(4) 貯蔵品	134,442
3 繰延資産	-
負債合計	9,831,232
1 固定負債	7,322,689
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,295,703
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,998,503
(7) リース債務	28,483
2 流動負債	1,651,374
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	492,006
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	487,510
(6) リース債務	17,516
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	612,978
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	857,169
(1) 長期前受金	1,989,958
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,132,789
資本合計	8,157,027
1 資本金	7,316,414
2 剰余金	840,613
(1) 資本金剰余金	11,663
(2) 利益剰余金	828,950
負債・資本合計	17,988,259
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	161,642	133,468
資本勘定繰入	281,505	180,873
計	443,147	314,341

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名	富岡地域医療企業団				
病院名	七日市病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	8,552 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	105	68.0	75.8	73.4
療養	57	86.5	87.9	89.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	162	74.3	79.9	78.7
平均在院日数(一般病床のみ)		55.1	55.4	57.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	101.2
修正医業収益(千円)	1,778,764

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,870,208			
1 経常収益	1,857,356			
(1) 医業収益	1,778,764			
入院収益	1,514,819			
外来収益	222,838			
診療収入計	1,737,657			
その他医業収益	41,107			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	78,592			
(うち国・都道府県補助金)	18,466			
(うち他会計補助・負担金)	16,640			
(うち長期前受金戻入)	36,398			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,852			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,825,215			
2 経常費用	1,812,363			
(1) 医業費用	1,757,735			
職員給与費	1,348,889	75.8	62.1	67.4
材料費	92,311	5.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	33,574	1.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,161	1.1	11.4	8.8
減価償却費	75,474	4.2	9.5	10.7
経費	233,311	13.1	22.7	29.2
(うち委託料)	121,258	6.8	12.6	13.9
研究研修費	1,395			
資産減耗費	6,355			
(2) 医業外費用	54,628			
(うち支払利息)	19,792	1.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	12,852			
損益				
経常損益	44,993			
純損益	44,993			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		101.9	100.3
医業収支比率	101.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	0.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	0.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	0.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	101.6		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,988,259
1 固定資産	12,496,415
(1) 有形固定資産	11,747,819
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	748,596
2 流動資産	5,491,844
(1) 現金及び預金	3,314,796
(2) 未収金及び未収収益	2,044,618
(3) 貸倒引当金( )	2,728
(4) 貯蔵品	134,442
3 繰延資産	-
負債合計	9,831,232
1 固定負債	7,322,689
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,295,703
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,998,503
(7) リース債務	28,483
2 流動負債	1,651,374
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	492,006
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	487,510
(6) リース債務	17,516
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	612,978
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	857,169
(1) 長期前受金	1,989,958
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,132,789
資本合計	8,157,027
1 資本金	7,316,414
2 剰余金	840,613
(1) 資本金剰余金	11,663
(2) 利益剰余金	828,950
負債・資本合計	17,988,259
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	24,071	16,640
資本勘定繰入	57,823	57,823
計	81,894	74,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				群馬県
市町村・組合名	下仁田南牧医療事務組合			
病院名	下仁田厚生病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	9,381 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	14	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	94	71.1	76.7	81.4
療養	-	-	98.4	98.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	71.1	80.5	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	15.7	15.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.9
修正医業収益(千円)	1,064,071

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,556,924			
1 経常収益	1,527,620			
(1) 医業収益	1,086,616			
入院収益	801,599			
外来収益	202,070			
診療収入計	1,003,669			
その他医業収益	82,947			
(うち他会計負担金)	22,545			
(2) 医業外収益	441,004			
(うち国・都道府県補助金)	90,759			
(うち他会計補助・負担金)	313,998			
(うち長期前受金戻入)	11,594			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,304			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,562,535			
2 経常費用	1,530,692			
(1) 医業費用	1,480,466			
職員給与費	1,051,108	96.7	62.1	78.9
材料費	143,892	13.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	48,819	4.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,896	6.6	11.4	6.0
減価償却費	91,663	8.4	9.5	11.7
経費	189,987	17.5	22.7	31.2
(うち委託料)	66,850	6.2	12.6	14.3
研究研修費	3,012			
資産減耗費	804			
(2) 医業外費用	50,226			
(うち支払利息)	16,598	1.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	31,843			
損益				
経常損益	-3,072			
純損益	-5,611			
累積欠損金	2,175,300			
経常収支比率	99.8		101.9	100.3
医業収支比率	73.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	31.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	21.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	77.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,103,955
1 固定資産	2,653,211
(1) 有形固定資産	2,632,737
(2) 無形固定資産	2
(3) 投資その他の資産	20,472
2 流動資産	450,744
(1) 現金及び預金	240,929
(2) 未収金及び未収収益	204,614
(3) 貸倒引当金( )	1,327
(4) 貯蔵品	6,516
3 繰延資産	-
負債合計	2,085,031
1 固定負債	1,437,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	876,084
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	561,020
(7) リース債務	-
2 流動負債	224,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	89,957
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,781
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	60,572
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	423,272
(1) 長期前受金	623,377
(2) 長期前受金収益化累計額( )	200,105
資本合計	1,018,924
1 資本金	3,165,195
2 剰余金	-2,146,271
(1) 資本金剰余金	29,029
(2) 利益剰余金	-2,175,300
負債・資本合計	3,103,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	357,765	336,543
資本勘定繰入	52,714	52,714
計	410,479	389,257

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	200.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	吾妻広域町村圏振興整備組合(事業会計分)		
病院名	中之条病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,080 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	1	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	223	87.8	86.7	85.5
感染症	-	-	-	-
計	223	87.8	86.7	85.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	56,934			
1 経常収益	56,934			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	56,934			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	56,592			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	56,463			
2 経常費用	56,463			
(1) 医業費用	56,463			
職員給与費	-	-	62.1	104.8
材料費	-	-	25.3	8.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	1.3
減価償却費	50,575	-	9.5	13.5
経費	4,642	-	22.7	33.3
(うち委託料)	-	-	12.6	18.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	1,246	-		
(2) 医業外費用	-	-		
(うち支払利息)	-	-	1.3	2.7
(3) 特別損失	-	-		
損益				
経常損益	471			
純損益	471			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		101.9	101.4
医業収支比率	-		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	99.4		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	99.4		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	0.6		89.3	66.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,343,278
1 固定資産	926,257
(1) 有形固定資産	926,257
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	417,021
(1) 現金及び預金	417,021
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	55,788
1 固定負債	500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	55,288
(1) 長期前受金	1,072,715
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,017,427
資本合計	1,287,490
1 資本金	211,568
2 剰余金	1,075,922
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,075,922
負債・資本合計	1,343,278
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	56,592	56,592
資本勘定繰入	-	-
計	56,592	56,592

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				群馬県
市町村・組合名	西吾妻福祉病院組合(事業会計分)			
病院名	西吾妻福祉病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	9,903 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	10	指定病院の状況	救へ輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	74	72.8	77.3	70.3
療養	-	-	-	40.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	74	72.8	77.3	60.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	20.8	15.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	403,553			
1 経常収益	403,552			
(1) 医業収益	36,961			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	36,961			
(うち他会計負担金)	36,961			
(2) 医業外収益	366,591			
(うち国・都道府県補助金)	22,389			
(うち他会計補助・負担金)	249,060			
(うち長期前受金戻入)	78,512			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	445,804			
2 経常費用	445,804			
(1) 医業費用	397,917			
職員給与費	21,636	58.5	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	137,205	371.2	9.5	11.7
経費	239,076	646.8	22.7	31.2
(うち委託料)	34,276	92.7	12.6	14.3
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	-	-	-	-
(2) 医業外費用	47,887			
(うち支払利息)	38,311	103.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-42,252			
純損益	-42,251			
累積欠損金	152,504			
経常収支比率	90.5		101.9	100.3
医業収支比率	9.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	70.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	773.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	70.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	26.4		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,104,809
1 固定資産	2,951,373
(1) 有形固定資産	2,122,766
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	828,607
2 流動資産	153,436
(1) 現金及び預金	143,047
(2) 未収金及び未収収益	10,389
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,744,079
1 固定負債	1,759,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,759,332
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	192,973
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	181,056
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,527
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,390
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	791,774
(1) 長期前受金	3,104,332
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,312,558
資本合計	360,730
1 資本金	30,041
2 剰余金	330,689
(1) 資本金剰余金	481,193
(2) 利益剰余金	-150,504
負債・資本合計	3,104,809
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	138,922	286,021
資本勘定繰入	132,539	164,539
計	271,461	450,560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	412.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。